

清酒の価格調査

須藤 茂俊・篠田 典子・高田 昭則・木崎 康造

Research of Price of Sake

Shigetoshi SUDO, Noriko SHINODA,
Akinori TAKADA, and Yasuzo KIZAKI

緒 言

酒類及び酒類業に関する研究・調査の1つとして、清酒の価格及び商品ラベルの収集を行い調査解析することとした。清酒の価格やラベルの情報は、消費者にとって大変身近であるとともに商品選択にとって大変重要な情報である。また、それらの調査結果は、清酒製造業者にとっても価格やラベルを決める際の参考になるものと考えられる。そこで、平成13年度に全国の清酒製造場にラベルの提供と価格等に関する調査を実施したので報告する。

なお、本報告では、価格部分の調査結果について述べる。また、ラベルについては、21世紀初頭に販売されていた清酒ラベルとしてファイル化して当研究所（酒類情報室）に保存するとともに、胴貼ラベルについては画像として保存することとしている。

調 査 方 法

1 調査概要

調査は、平成13年12月に全国約2,000の清酒製造場にラベルの提供と価格等に関する調査書の記載を依頼する方法で実施した。依頼内容は、各製造場における特定名称酒以外、本醸造酒、純米酒及び吟醸酒の4タイプの代表的なガラス容器用ラベルの提供とその商品の価格等の記載である。回答のあった清酒製造場は1,177場で、収集された

ラベルは、特定名称酒以外、本醸造酒、純米酒及び吟醸酒の4タイプの胴貼、肩貼、証紙、裏貼などである。

2 価格の解析

解析は、特定名称酒以外、本醸造酒、純米酒及び吟醸酒のタイプごとに価格を集計し、統計処理を行い、最大値、最小値、平均値、標準偏差(SD)、変動係数(CV:標準偏差を平均値で割った値)などを求めた。

なお、回答製造場からは、4タイプ全てのラベルが送付されているとは限らないこと及び価格の記載のないものもあり、集計上の試料数は個々に異なる結果となった。また、価格は、各製造場の希望小売価格である。

結 果 と 考 察

1 価格データの状況

収集された価格データを表1に示したが、容量別に見ると1,800ml瓶が最も多く、次いで720ml瓶で、両方を合わせると全体の98%に達した。これは、依頼に当たって同じタイプに複数の製品がある場合は、販売数量の多い製品を選んでもらうよう依頼したためと思われる。720ml瓶は、特定名称酒以外のタイプでは少なかったが、吟醸酒では3分の1を占めていた。また、吟醸酒は、大吟醸酒及び吟醸酒に分けられ、さらに純米かどうかで合計4つに細分されるが、最も多かったのは

表1 収集した価格データ

容量 (ml)	特定名称酒以外	本醸造酒	純米酒	吟醸酒
	試料数 (%)	試料数 (%)	試料数 (%)	試料数 (%)
720	19 (1.9)	80 (7.9)	99 (11.0)	343 (33.9)
1,800	974 (96.4)	915 (90.6)	779 (86.7)	657 (64.8)
その他	17 (1.7)	15 (1.5)	21 (2.3)	13 (1.3)
合計	1,010 (100.0)	1,010 (100.0)	899 (100.0)	1,013 (100.0)

吟醸酒の内訳

容量 (ml)	吟醸酒	純米吟醸酒	大吟醸酒	純米大吟醸酒	合計
720	57	42	210	34	343
1,800	162	131	301	63	657

大吟醸酒であった。

2 タイプ別の平均価格

清酒のタイプ別の平均価格を 1,800ml 及び 720ml 瓶に分けて、表 2 に示した。

1,800ml 瓶では、特定名称酒以外、本醸造酒、純米酒及び吟醸酒の順に平均価格は高くなっている。また、変動係数 (CV 値) を比較すると、特定名称酒以外、本醸造酒及び純米酒では 10% 程

度であるのに対し、吟醸酒の 4 区分では 25% から 40% と大きく、吟醸酒の価格はバラつきが大きかった。本醸造酒及び純米酒の 720ml 瓶では、1,800ml 瓶に比べて、価格の変動係数 (CV 値) が大きく、価格がよりバラついていることが推察される。

以下、タイプ別に、主に 1,800ml 瓶の価格の集計結果を記載する。

表2 タイプ別の価格

(1,800ml 瓶)				価格 (円)			
1,800ml 瓶	特定名称酒以外	本醸造酒	純米酒	吟醸酒			
				吟醸酒	純米吟醸酒	大吟醸酒	純米大吟醸酒
試料数	974	915	780	162	131	301	63
平均値	1,742.5	1,930.4	2,239.5	2,924.3	2,923.5	5,447.1	4,939.4
最大値	3,686	3,000	5,000	5,830	7,000	12,000	11,650
最小値	695	1,070	1,480	1,800	1,942	2,233	2,427
S D	174.0	197.3	300.0	748.2	752.2	1,683.0	2,020.7
C V (%)	10.0	10.2	13.4	25.6	25.7	30.9	40.9

(720ml 瓶)				吟醸酒			
720ml 瓶	特定名称酒以外	本醸造酒	純米酒	吟醸酒			
				吟醸酒	純米吟醸酒	大吟醸酒	純米大吟醸酒
試料数		80	99	57	42	210	34
平均値		1,144.0	1,290.0	1,764.6	1,587.1	2,866.0	3,045.7
最大値	試料数が少ないため集計しない	2,913	2,800	3,500	3,000	5,500	6,000
最小値		777	685	971	950	1,068	1,429
S D		339.3	287.2	540.4	399.0	673.7	1,045.9
C V (%)		29.7	22.3	30.6	25.1	23.5	34.3

3 特定名称酒以外の価格の分布

特定名称酒以外の 1,800ml 瓶価格の度数分布を図 1 に示した。度数分布には、1,601円～1,650円と1,801円～1,850円の大きな 2 つの価格ピークがあり、合わせると全体の 76.4% を占めている。それぞれの価格ピークの内、1,801円～1,850円の価格帯では、399点中321点（80.5%）に「上撰」の表示がされていた。一方、1,601円～1,650円の価格帯では、345点中 3 点（0.9%）にしか表示がなかった。このことから、1,601～1,650円と1,801

～1,850円の大きな価格ピークは、旧級別制度における旧 2 級酒及び旧 1 級酒に相当しているものと考えられる。

特定名称酒以外の格付に関する表示内容を 2 つの価格ピークの真ん中（1,750円）で分けて調べると、表 3 に示したように1,750円以下の区分では、477点中、「表示なし」318点、「上撰」20点、「佳撰」34点、「精撰」38点、「金印」21点、「秀撰」8点、その他の表示が38点で、表示なしが最も多かった。一方、1,751円以上では、497点中、「表

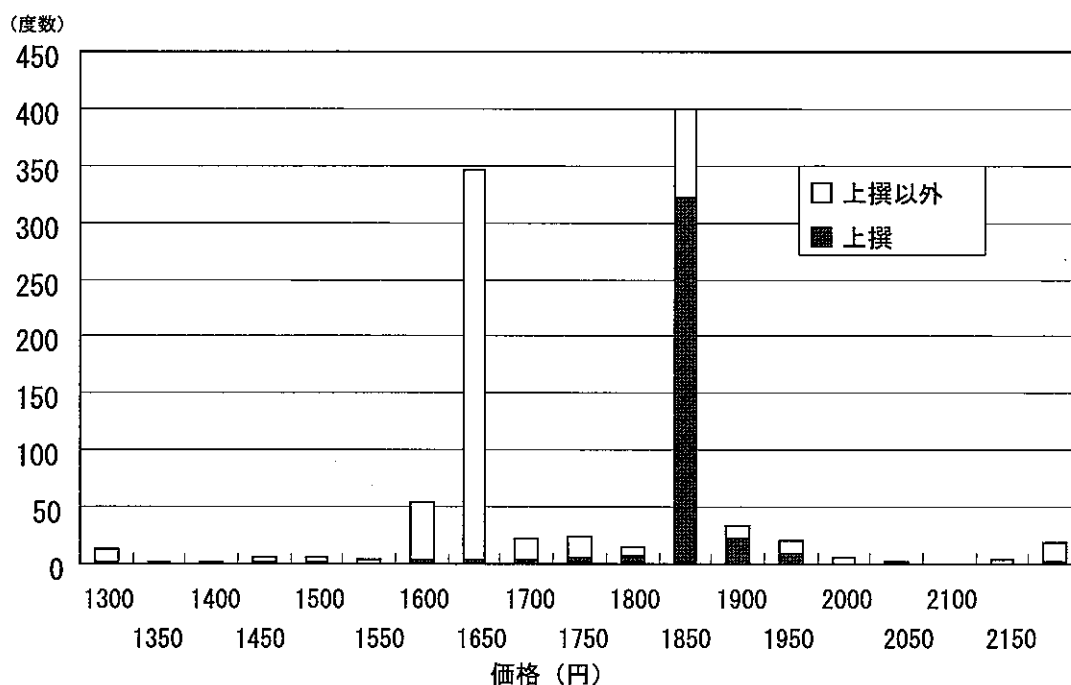


図 1 特定名称酒以外（1,800ml）の価格の度数分布

注) 図 1 の度数の分け方は、1,300円以下、1,301円から1,350円まで、1,351円から1,400円まで、

……2,101円から2,150円まで、2,151円以上である。以下の図 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10でも同様である。

表 3 特定名称酒以外（1,800ml 瓶）の格付表示

表示の有無	1,750円以下	1,751円以上	合計
なし	318	116	434
あり	159 (内訳) 上撰：20, 佳撰：34, 精選：38 金印：21, 金撰：2, 秀撰：8, 特撰：1 ★その他：35 (良撰, 別撰, 美撰, 粹撰, 銀撰, 県推奨, 品質委員会など)	381 (内訳) 上撰：361, 佳撰：0, 精選：0 金印：1, 金撰：5, 秀撰：0, 特撰：8 ★その他：6 (真撰, 上等, 特醸など)	540
合計	477	497	974

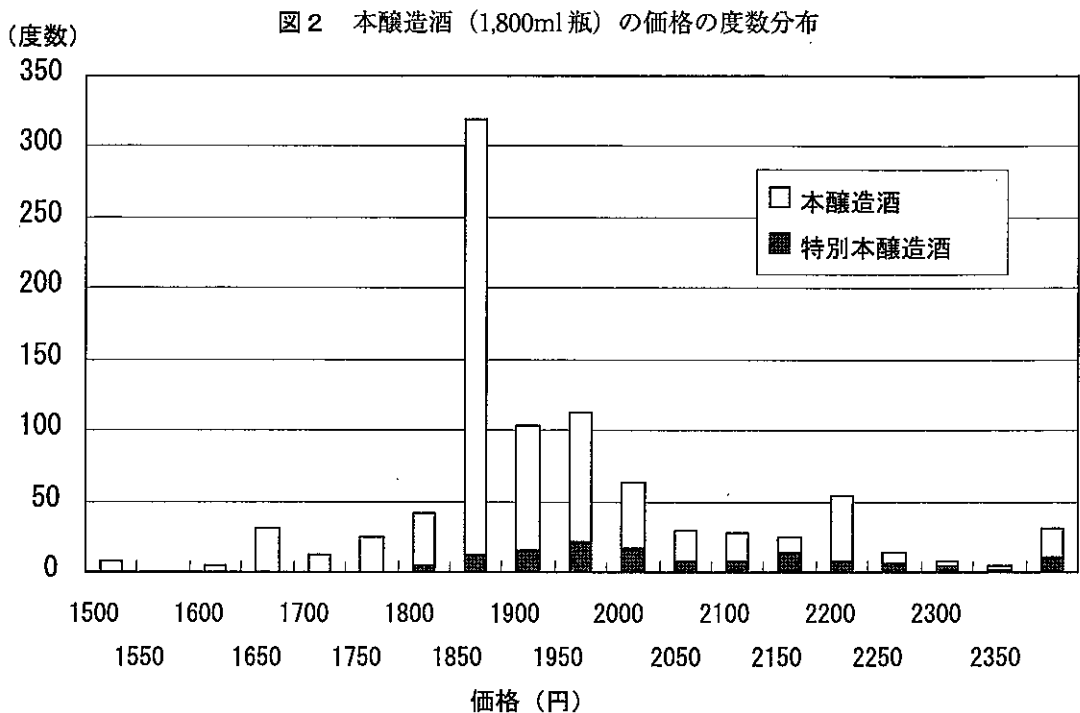


図2 本醸造酒（1,800ml 瓶）の価格の度数分布

示なし」116点、「上撰」361点などで、上撰表示が最も多かった。

4 本醸造酒の価格の分布

本醸造酒の1,800ml 瓶価格の度数分布を図2に示した。度数分布では、1,801～1,850円に価格のピークがあり、そこから2,000円にかけてのものが多かった。本醸造酒のうち精米歩合 60% 以下の特別本醸造酒は、全本醸造酒中の 14.2% を占めていたが、1,750円までの価格に特別本醸造酒はなく、1,751円以上の各価格クラスに分布していた。

本醸造酒は、特定名称酒以外に比べ価格の幅が広がっているが、1,801～1,850円のピークは特定名称酒以外の「上撰」クラスと重なっていた。

本醸造酒における「上撰」、「特撰」などの格付表示を調べると、1,801～1,850円の価格帯には、319点中113点（35.4%）の「上撰」と12点の「特撰（超特撰を含む）」があり、本醸造表示と併用して表示されていた。このことから、1,801～1,850円の価格帯では、先の特定名称酒以外の「上撰」、本醸造酒表示のもの及び本醸造と「上撰」

を併用表示したものが販売されていることになる。

5 純米酒の価格の分布

純米酒の1,800ml 瓶価格の度数分布を図3に示した。度数分布では、2,000～2,050円に最も大きいピークがあるものの、特定名称酒以外や本醸造酒と比べ、1,900～2,500円にかけて価格が幅広く分布している特徴が見られる。特定名称酒以外とは、価格がほとんど重なっておらず、価格の差別化がなされていることも認められる。純米酒中の特別純米酒（精米歩合 60% 以下）の割合は、2,100円までの価格帯ではその割合は低いが、2,100円を超える価格帯から多くなり、2,300円を超える価格帯では 30%～40% を占めていた。

純米酒における「上撰」、「特撰」などの格付表示は、全純米酒780点中の36点（4.6%）にすぎず、特定名称酒以外及び本醸造酒と比べて非常に少なかった。純米酒は、純米そのものに格付の意味があり消費者に理解されやすいことから、「上撰」、「別撰」などの格付に関する表示が少なくなっているものと考えられる。

図3 純米酒（1,800ml）の価格の度数分布

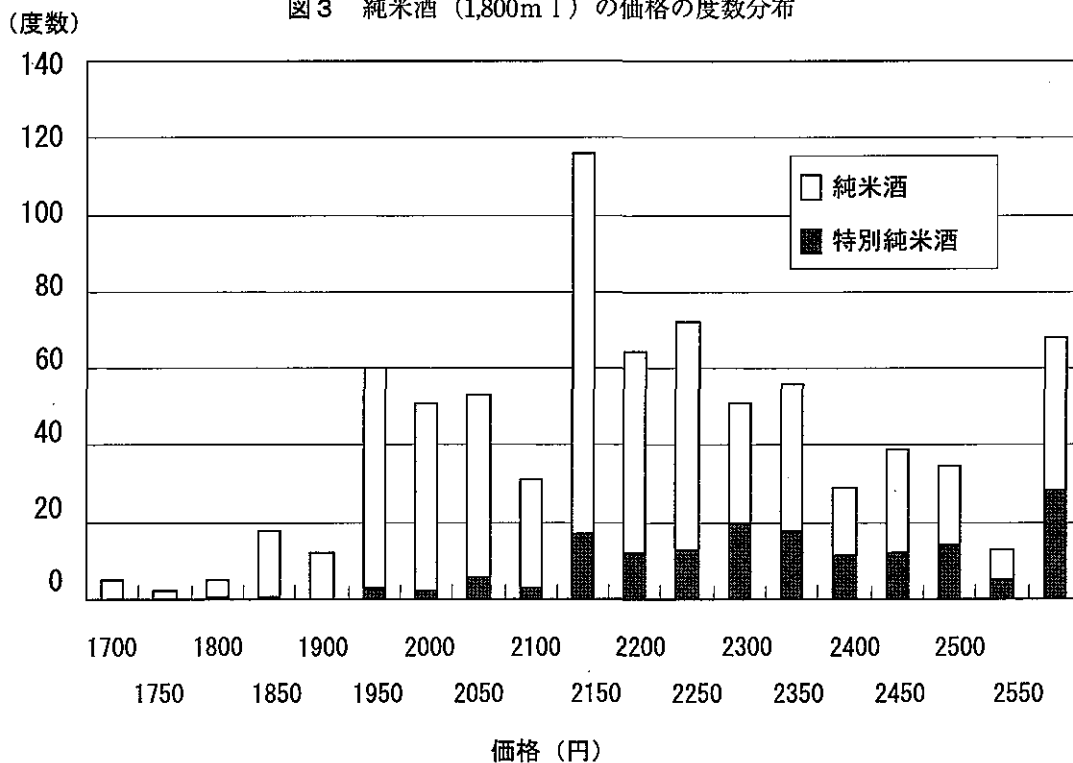


図3 純米酒（1,800ml）の価格の度数分布

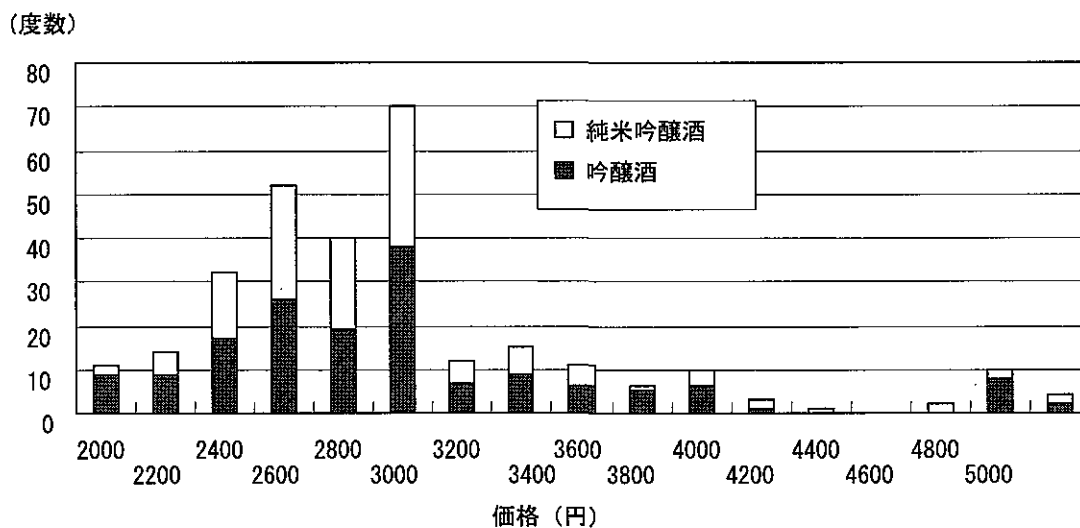


図4 吟醸酒（1,800ml瓶）の価格の度数分布

6 吟醸酒の価格の分布

吟醸酒の1,800ml瓶価格の度数分布を、吟醸酒及び純米吟醸酒並びに大吟醸酒及び純米大吟醸酒に分けて、それぞれ図4及び図5に示した。

図4の吟醸酒と純米吟醸酒の度数分布では、2,201円～3,000円の価格が多く、4,001円以上のものは少ない。大吟醸酒等の主な価格帯である

5,000円クラスとは、価格が明確に区別されている。また、吟醸酒と純米吟醸酒の分布は重なりあり、両者に価格の差は認められない。

一方、図5の大吟醸酒と純米大吟醸酒では、4,801～5,000円に大きなピークがあり、この区分中の38.6%（140点）を占めるが、それを除けば価格は非常に広い範囲に分布している。大吟醸酒

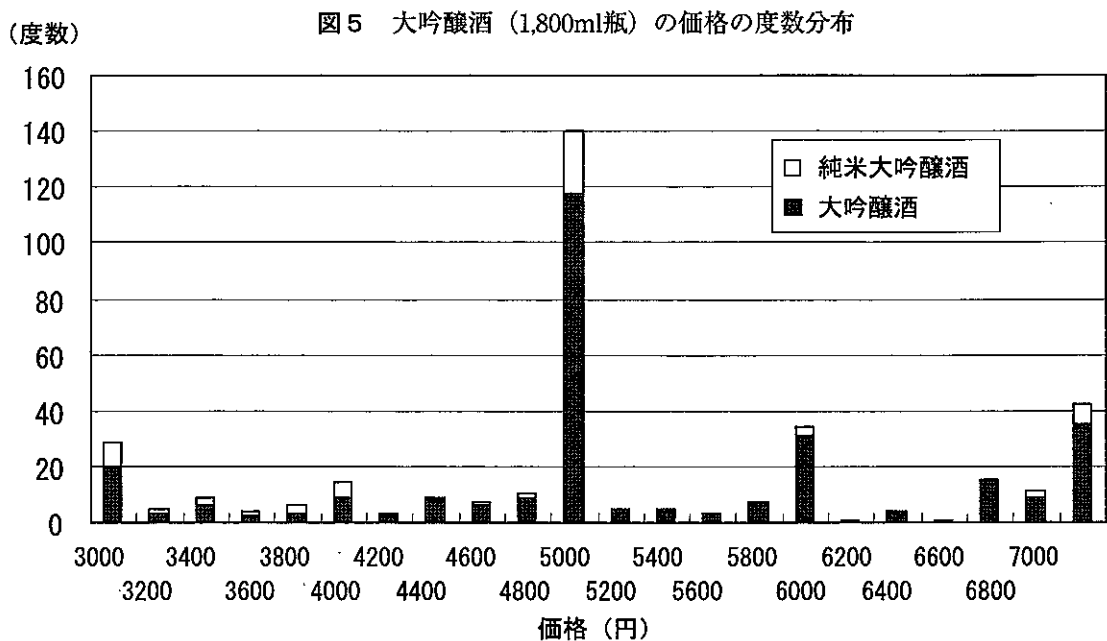


図5 大吟醸酒（1,800ml瓶）の価格の度数分布

表4 特定名称酒以外（1,800ml 瓶）の上撰及び上撰以外に分けた場合の地域別価格 価格（円）

国税局	上 撰			上撰以外			全試料数	上撰割合 (%)
	試料数	平均値	SD	試料数	平均値	SD		
札幌	2	1,835.0	-	7	1,698.4	217.1	9	22.2
仙台	29	1,858.7	111.0	123	1,656.3	169.8	152	19.1
関東信越	19	1,842.3	48.3	179	1,649.3	130.9	198	9.6
東京	10	1,836.5	10.6	40	1,627.0	73.9	50	20.0
金沢	20	1,858.5	26.9	21	1,682.4	126.0	41	48.8
名古屋	46	1,836.4	8.7	53	1,780.2	390.9	99	46.5
大阪	62	1,803.8	175.4	69	1,684.7	160.2	131	47.3
広島	100	1,826.7	63.0	49	1,758.3	177.7	149	67.1
高松	37	1,805.7	101.5	25	1,764.2	241.8	62	59.7
福岡	40	1,804.1	114.8	16	1,806.0	260.3	56	71.4
熊本	16	1,841.1	51.6	11	1,759.5	123.9	27	59.3
全体	381	1,829.1	71.8	593	1,686.9	196.3	974	39.1

と純米大吟醸酒の価格の違いも認められない。

7 地域別の価格

清酒の価格に地域的な特徴が見いだされるかどうか、1,800ml 瓶について国税局別に比較した。

(1) 特定名称酒以外

地域別の価格を表4に示した。集計は「上撰」

区分とそれ以外の区分について別々に行った。また、度数分布は、図6に示した。

「上撰」の割合は、東日本で低く、西日本で高いことが認められ、東日本からは主に価格帯の低いラベルが選ばれ、西日本からは価格帯の高いラベルが提供されたことがうかがえる。地域別の価格では、「上撰」区分では東日本の方が西日本よりやや価格が高い傾向にあり、「上撰」以外では、

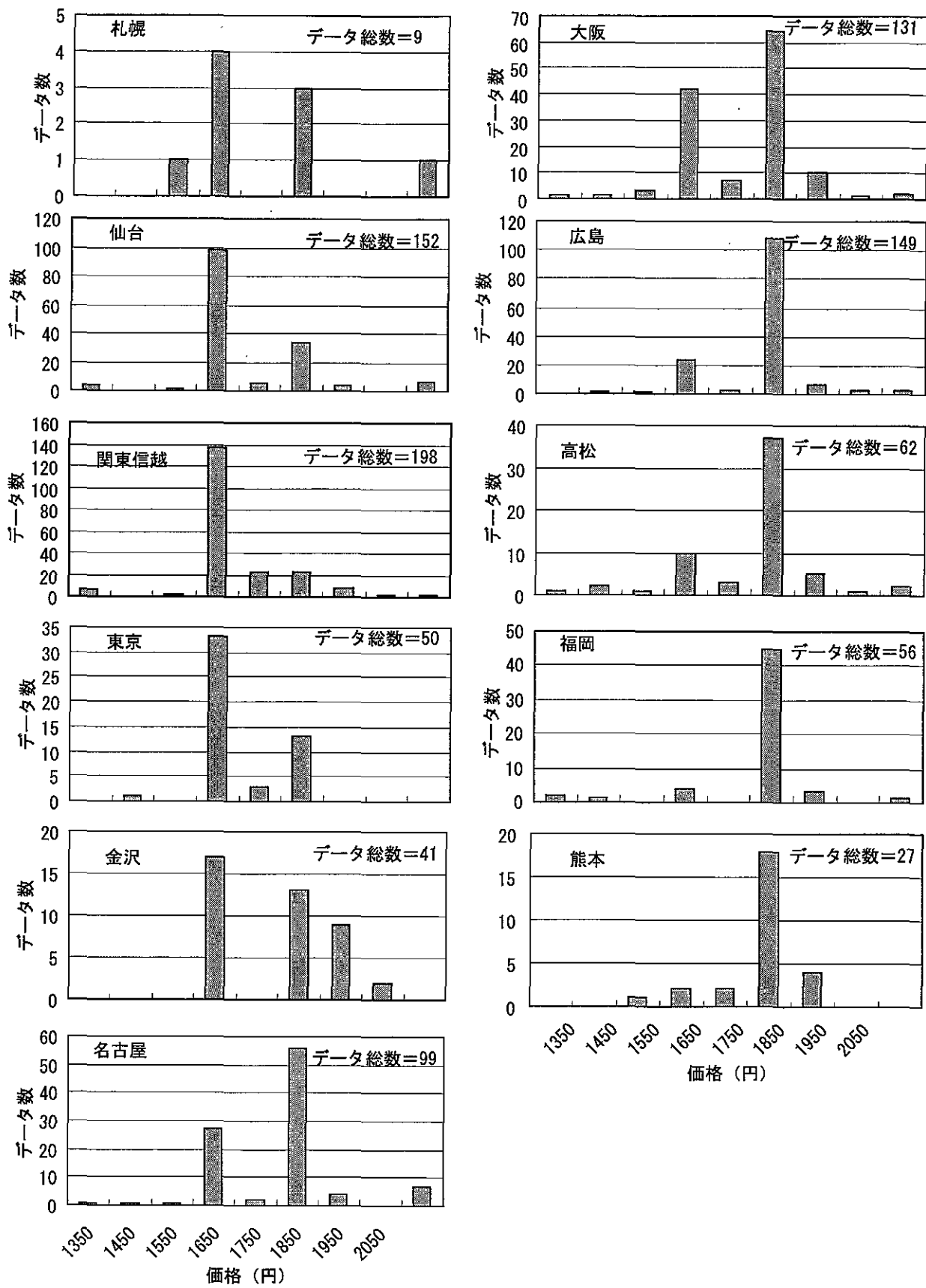


図6 特定名称酒以外(1,800ml 瓶)の地域別の価格の度数分布

東日本に比べ西日本の方がやや価格が高い傾向にあった。西日本で「上撰」以外の価格が高いのは、「上撰」表示がないものの中に「上撰」クラスの価格のものが多く含まれていたためと考えられる。

(2) 本醸造酒の地域別価格

地域別の価格を、特別本醸造酒と本醸造酒に分けて集計し表5に示した。表5の「その他」は、本醸造酒のラベルとして送付されたもののうち、ラベルに本醸造の表示がなかったものである。本醸造酒の地域別価格の度数分布は、図7に示した。

表5 本醸造酒（1,800ml 瓶）の地域別価格 価格（円）

国税局	特別本醸造酒			本醸造酒			その他	全試料数	特別本醸造酒の割合 (%)
	試料数	平均値	SD	試料数	平均値	SD			
札幌	1	1,900.0	-	9	2,034.7	288.5	0	10	10.0
仙台	23	2,003.2	131.2	120	1,896.6	181.3	16	159	10.0
関東信越	35	2,093.3	211.7	163	1,854.0	129.7	9	207	16.9
東京	3	1,995.3	124.4	48	1,880.5	117.9	3	54	5.6
金沢	7	2,042.1	114.0	33	1,943.0	156.7	6	46	15.2
名古屋	17	2,080.9	245.1	67	1,877.3	169.9	17	101	16.8
大阪	13	2,115.7	185.5	99	1,958.8	249.2	13	125	10.4
広島	13	2,046.5	152.0	79	1,916.1	156.7	12	104	12.5
高松	9	1,967.2	177.9	33	1,953.9	133.9	2	44	20.4
福岡	7	2,134.3	356.5	33	1,915.9	164.8	6	46	15.2
熊本	2	1,970.5	-	14	2,001.7	273.6	3	19	10.5
全体	130	2,058.4	197.7	698	1,903.6	178.6	87	915	14.2

注) その他は、送付されたラベルに本醸造の記載がなかったもの
特別本醸造酒の割合は、全試料数に対するもの

表6 純米酒（1,800ml 瓶）の地域別価格 価格（円）

国税局	特別純米酒			純米酒			その他	全試料数	特別純米酒の割合 (%)
	試料数	平均値	SD	試料数	平均値	SD			
札幌	3	2,670.0	674.6	5	2,265.4	200.2	0	8	37.5
仙台	32	2,396.2	251.4	117	2,217.9	270.2	1	150	21.3
関東信越	36	2,425.9	277.8	131	2,203.0	266.5	2	169	21.3
東京	6	2,351.2	320.2	35	2,108.3	196.0	0	41	14.6
金沢	6	2,518.3	243.3	34	2,305.4	284.6	0	40	15.0
名古屋	20	2,265.0	225.8	57	2,150.0	196.3	2	79	25.3
大阪	26	2,457.0	557.9	85	2,173.6	286.9	1	112	23.2
広島	16	2,291.3	253.3	68	2,165.8	143.1	0	84	19.0
高松	7	2,266.1	131.9	31	2,250.5	307.5	0	38	18.4
福岡	11	2,315.2	176.3	32	2,195.8	296.7	0	43	25.6
熊本	3	2,396.7	89.6	12	2,125.1	159.8	0	15	20.0
全体	166	2,383.1	327.2	607	2,193.9	254.6	6	779	21.3

注) その他は、送付されたラベルに純米の記載がなかったもの
特別純米酒の割合は、全試料数に対するもの

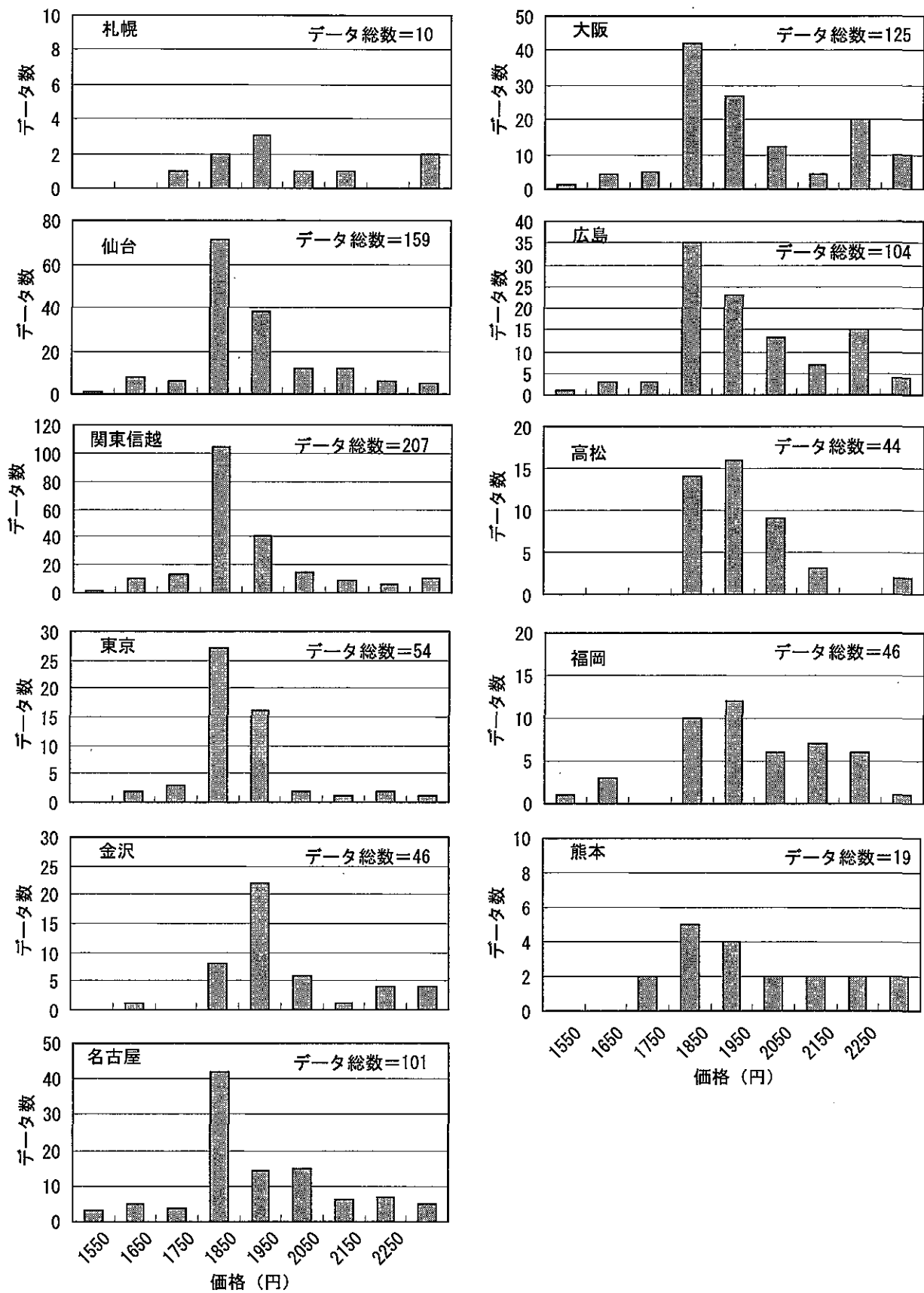


図7 本醸造酒（1,800ml 瓶）の地域別の価格の度数分布

なお、図7には特別本醸造酒と本醸造酒（表5のその他も含む）が含まれている。

図7からは、本醸造酒の価格は、東日本に比べ西日本においてやや価格が高い傾向が見られる。

特別本醸造酒は全国平均で約2,050円、本醸造酒は約1,900円であり、両者には150円程度の価格差がある。

(3) 純米酒

地域別の価格を、特別純米酒と純米酒に分けて、集計し表6に示した。表6の「その他」は、表5の場合と同様である。純米酒の地域別価格の度数分布は、図8に示した。

なお、図8には特別純米酒と純米酒（表6のその他も含む）が含まれている。

特別純米酒は全国平均で約2,380円、純米酒は約2,190円で、両者には約200円程度の価格差があ

表7 吟醸酒及び純米吟醸酒（1,800ml 瓶）の地域別価格 価格（円）

国税局	試料数			平均値	最大	最小	SD	CV
	吟醸酒	純米吟醸酒	合計					
札幌	3	0	3	3,884.3	4,854	3,110	888.3	22.9
仙台	23	15	38	3,211.3	7,000	1,942	1,013.8	31.6
関東信越	43	34	77	2,984.8	5,830	2,090	659.0	22.1
東京	12	9	21	2,815.8	6,500	2,000	963.0	34.2
金沢	12	5	17	3,059.7	5,000	1,800	1,067.0	34.9
名古屋	16	17	33	2,728.2	4,175	2,165	442.8	16.2
大阪	18	25	43	2,928.7	5,000	2,000	707.0	24.1
広島	13	16	29	2,737.0	4,000	2,000	480.8	17.6
高松	8	7	15	2,838.7	5,000	2,100	667.3	23.5
福岡	11	2	13	2,693.1	3,595	1,845	479.1	17.8
熊本	3	1	4	2,282.5	2,030	2,430	186.1	8.2
全体	162	131	293	2,923.9	7,000	1,800	748.7	25.6

表8 大吟醸酒及び純米大吟醸酒（1,800ml 瓶）の地域別価格 価格（円）

国税局	試料数			平均値	最大	最小	SD	CV
	大吟醸酒	純米大吟醸酒	合計					
札幌	1	2	3	8,667.0	11,650	2,850	4,621.8	53.3
仙台	54	9	63	5,867.8	12,000	2,500	1,962.5	33.4
関東信越	74	8	82	5,269.0	10,000	2,427	1,660.8	31.5
東京	15	2	17	5,365.0	10,000	2,233	2,119.6	39.5
金沢	22	3	25	5,766.0	11,429	2,500	1,959.0	34.0
名古屋	34	5	39	4,962.4	10,000	2,500	1,623.1	32.7
大阪	29	14	43	5,209.0	10,000	2,800	1,365.2	26.2
広島	44	9	53	5,191.9	10,000	2,700	1,442.6	27.8
高松	7	9	16	4,185.6	8,000	2,500	1,401.3	33.5
福岡	17	2	19	5,756.1	10,000	4,000	1,508.4	26.2
熊本	4	0	4	3,920.5	5,000	2,913	1,163.7	29.7
全体	301	63	364	5,359.0	12,000	2,233	1,753.8	32.7

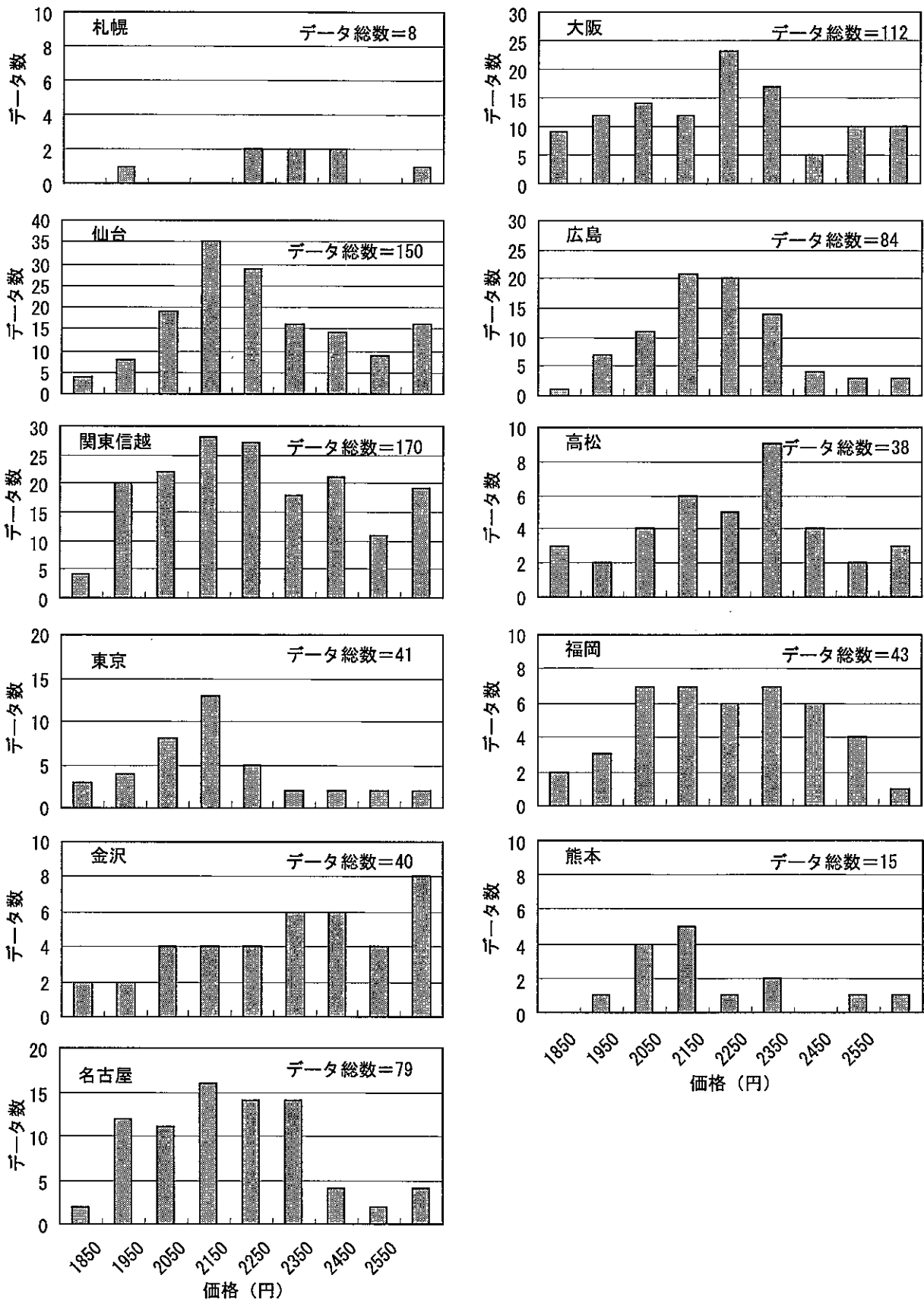


図8 純米酒（1,800ml 瓶）の地域別の価格の度数分布

る。純米酒の価格は、どの地域においても幅広く分布している特徴が見られた。また、金沢局では、価格の低いものより高いものが多い傾向が見られた。

(4) 吟醸酒

地域別の価格を、吟醸及び純米吟醸と大吟醸及び純米大吟醸に分けて集計し、それぞれ表7及び8に示した。また、地域別の価格を、度数分布として図9（吟醸酒及び純米吟醸酒）、図10（大吟醸酒及び純米大吟醸酒）に示した。

試料数の少ない局を除けば、吟醸酒及び純米吟醸酒は、3,000円クラスのものが多い。ただ、変動係数（CV）は他の局と比べ金沢局、東京局及び仙台局で大きく、これらの地域では価格の幅が大きいと考えられる。また、大吟醸酒及び純米大吟醸酒では、ほとんどの地域において4,601円～5,000円クラスの価格が多いが、仙台局、関東信越局、東京局及び福岡局では6,601円以上の高価格酒の割合が高い傾向にあった。

8 価格上位5位の占める割合

各タイプにおける1,800ml瓶の価格の上位5位が占める割合を図11に示した。

市場の実勢価格とは異なるものの、特定名称酒以外は上位5位で66.4%を占め、価格寡占度が最も高かった。1,835円の価格が第1位の30数%を占め、次いで1,601円～1,650円までの価格が2位から5位を占めるなど、図1で見られた2つの大きな価格ピークに対応していた。上位5位が占める割合は、次いで、本醸造酒（41.2%）、純米酒（30.4%）、吟醸酒・純米吟醸酒（26.6%）の順であった。

9 バーコード

商品の製造場、表品名などが記録されたバーコードは、多くの商品で普及している。そこで、1,800ml瓶のラベルにおける記載状況を調べた。図12に示したとおり、全国では、特定名称酒以外69.4%、本醸造酒67.4%、純米酒65.6%及び吟醸酒47.6%の普及率であった。地域的には、東日

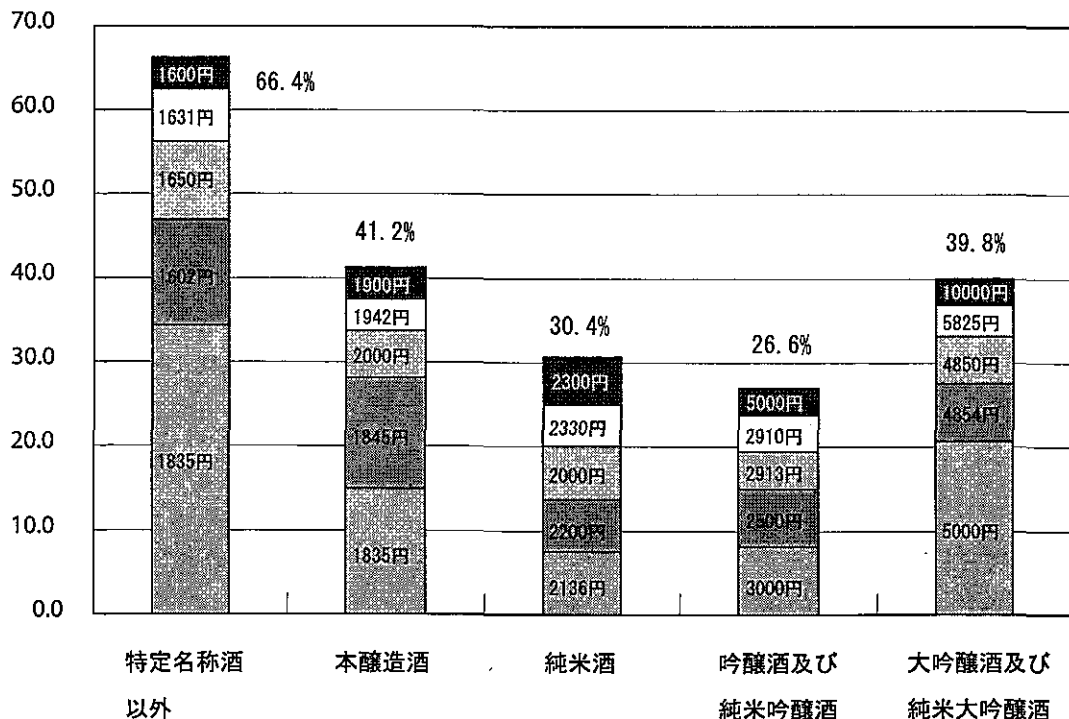


図11 1,800ml瓶の価格度数上位5位の占める割合

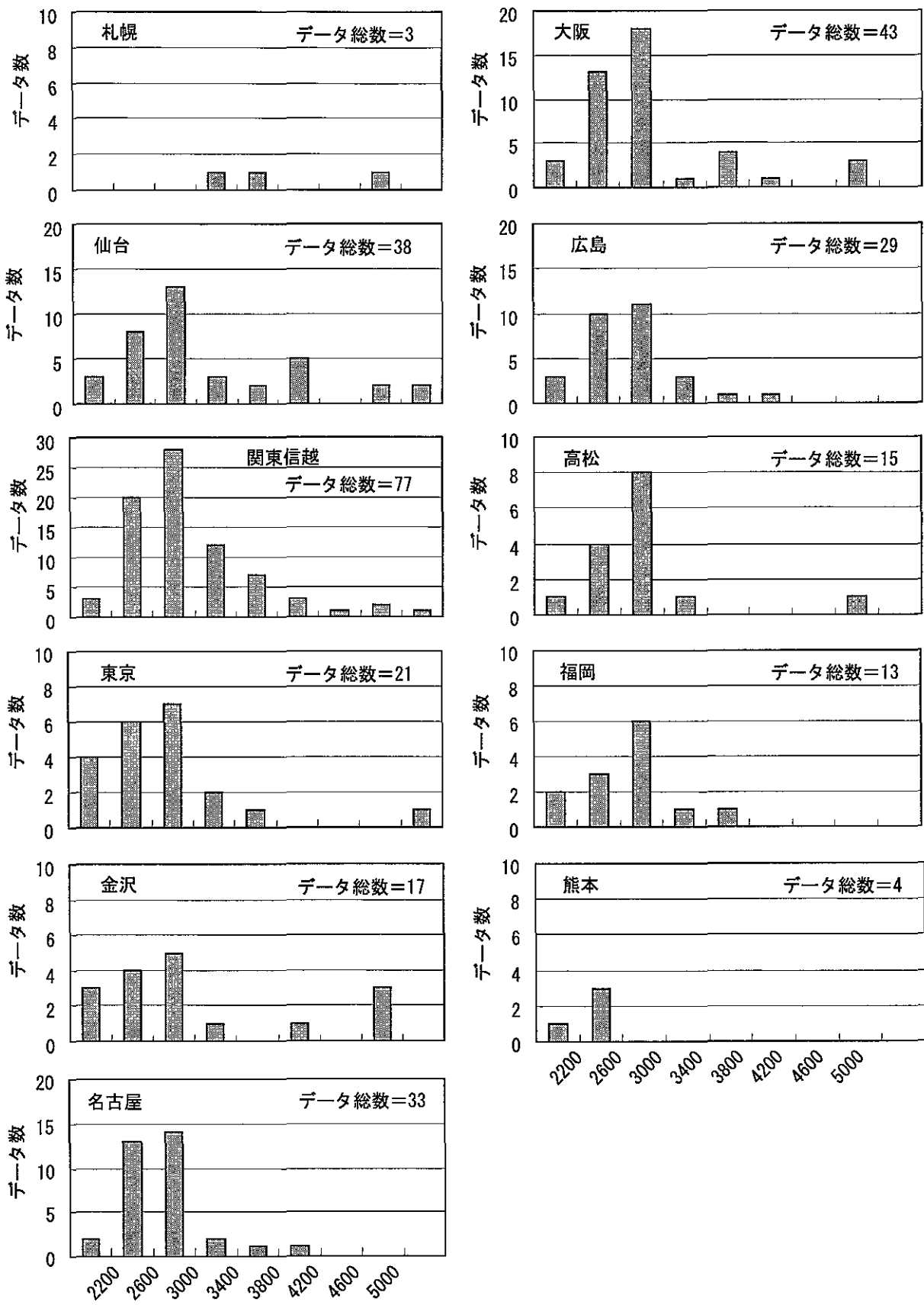


図9 吟醸酒及び純米吟醸酒（1,800ml 瓶）の地域別の価格の度数分布

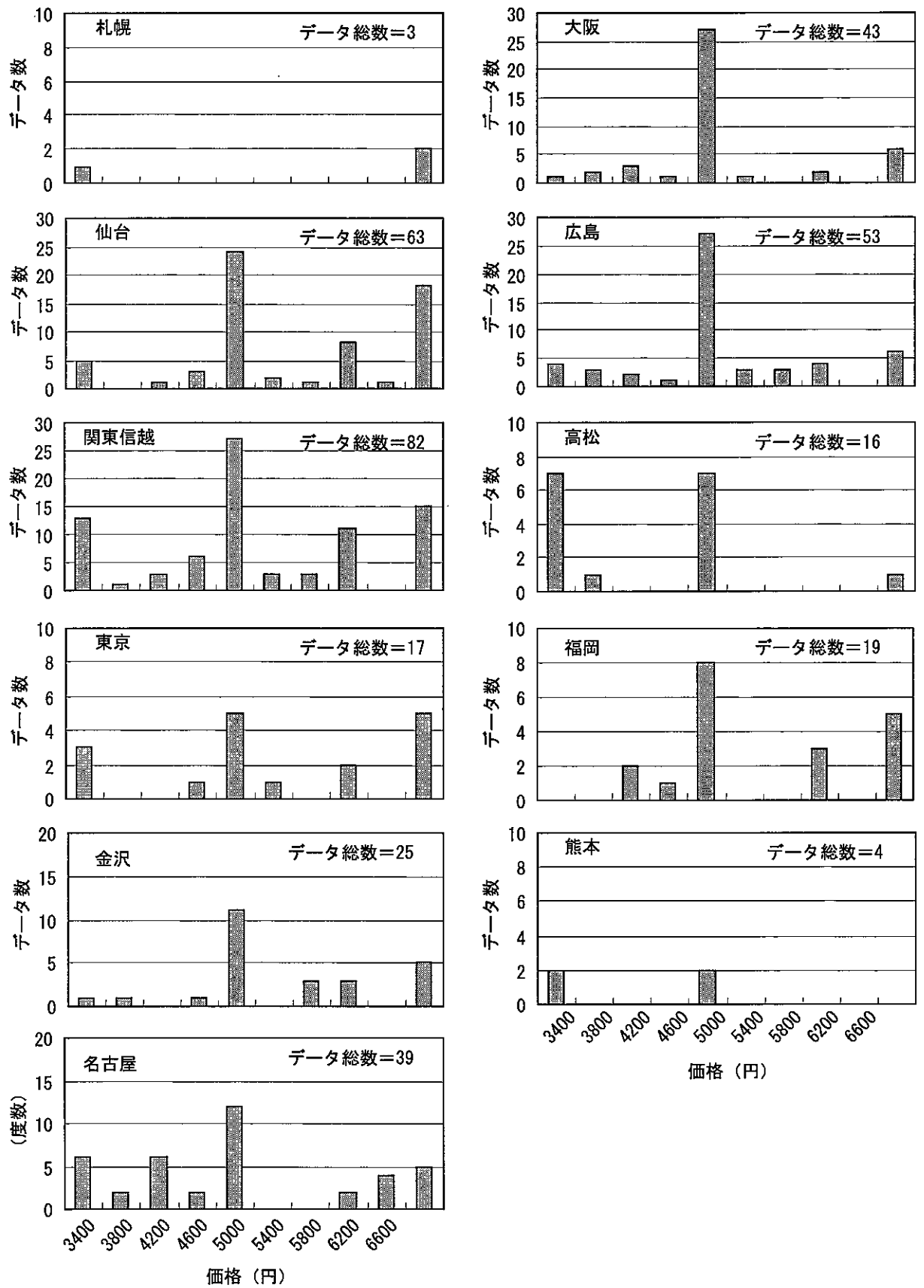


図10 大吟醸酒及び純米大吟醸酒（1,800ml 瓶）の地域別の価格の度数分布

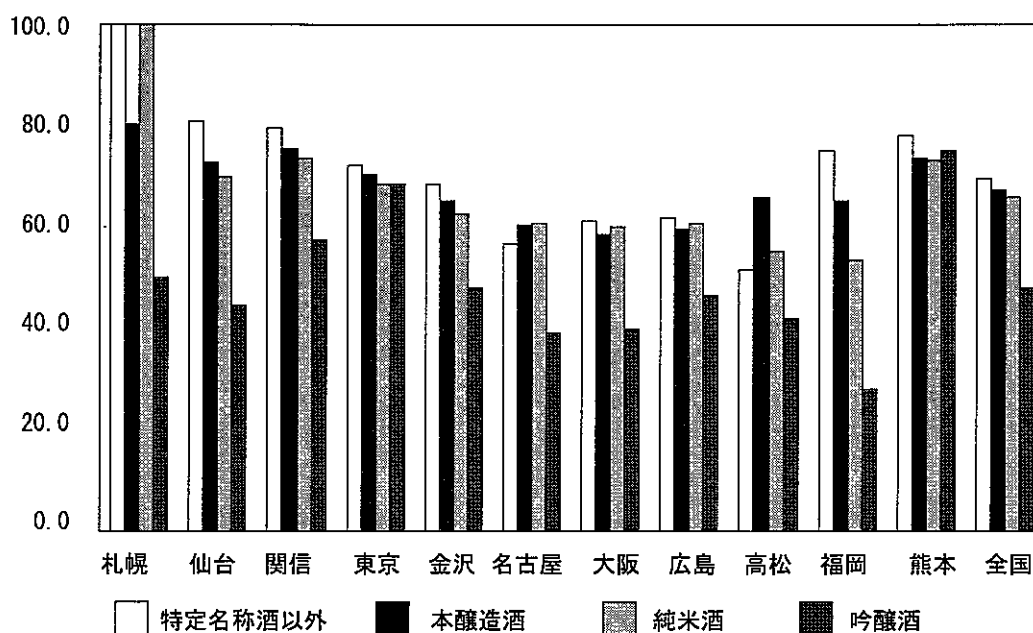


図12 1,800ml 1 瓶ラベルにおけるバーコードの普及率

本の方が西日本よりも普及率が高い傾向にあった。

記載場所は、特定名称酒以外、本醸造酒、純米酒では、胴貼が最も多く、記載ラベル中のそれぞれ 91.1%、76.0% 及び 63.5% であった。胴貼以外では、裏貼への記載が大半を占めていた。また、吟醸酒では、裏貼 53.0%、胴貼 46.6% と裏貼の記載が多かった。

10 まとめ

清酒の価格は、製造コスト、販売コスト、販売戦略などによって決まってくるものと思われる。特に製造コストでは、原料米の価格、米の精米歩合、醸造アルコールの使用量などによって大きく異なり、吟醸酒に代表されるように製造方法によってもコストが異なる。今回調査した価格の集計において、特定名称酒以外、本醸造酒、純米酒、吟醸酒の順に平均価格が高くなっていることは、このような理由からと考えられる。また、同一タイプにおける価格差は、原材料費や生産性などの

差によるものと説明できる。

しかし、現在のラベルの表示内容からは価格の違いが明確には消費者に伝えられていないように思われる。特に、1,801～1,850円の価格帯では、大きく分けて特定名称酒以外の「上撰」、本醸造表示のもの及び「上撰」と本醸造を併用して表示したものの3種類の清酒が販売されており、消費者にとって価格と表示との関係が明確でないように思われる。

今回の価格データは、全ての清酒を調査したものではないが、全国的な清酒製造場の希望小売価格に関する貴重な統計資料である。各製造場において、価格を決定する時の参考として活用できるものと考えられる。

終わりに、本調査にご協力をいただいた全国の清酒製造場に感謝致します。

また、本調査をまとめるに当たり、貴重なご助言を賜りました江戸川大学教授の大石先生及び中小企業診断士の伊藤先生に深く感謝致します。